

かけ橋

第 26 号

編集・発行
願船坊

H30 年 5 月



昨年の十一月二十七日、二十八日と秋供養・報恩講法要を執り行い、ご講師に、呉市浄円寺の桑原浄昭先生にお越し頂きました。

久しぶりに桑原先生のお話を聞かせていただき、良きご縁に遇わせていただきました。以下、先生のご法話より抜粋です。

講題 『聞くまんなのお拯い』

~~~~~お聴聞するときに大事なこと~~~~~

『聞即信』なのです。時間を置いたらダメ。食事と一緒に、後からとか、持ち帰って改めて「美味しい」ということはありません。聞いたその時に感動するのがこれ。そこに自分の詮索を入れないことです。

阿弥陀さまの「たすけるぞ」の意味は、救済の救うではなく、拯うです。お正信偈のなかの『弘経大士宗師等 拯済無辺極濁悪』に出てくるところです。

救つゝ治して助ける に対し

拯つゝそのまま水をすくつゝように助ける。条件をつけない。

「そのまま」でよいのなら、「このまま」で何もしないでただ任せればよい、と考える人は、如来さまの心を聞いていな

人です。

諸仏にかつて見捨てられたこの私でありました。条件を付けたら、こぼれてしまう私たちなので、無条件にする必要がありました。だから「そのままでよい」と言われました。この煩惱まみれの私を知り抜いた阿弥陀さまの値打ちがここにあります。

その御心に触れ、大いなるお慈悲に包まれていた私でしたと判ったとき「お恥ずかしい私でありました」という気持ちにならせていただき、自ずと頭が下がり「なまんだぶ」とお念仏申させていただく姿になる。これこそが、本当の「お聴聞」というのではないのでしょうか。

また、今回のご法座ではお齋をお出しするため、仏教婦人会の皆様には四日ばかりで買出しからお片づけまで、大変ご苦勞をしていただきました。仏婦の皆様、本当にありがとうございました。ありがとうございました。

今年も本当にしみじみ美味しく、皆さまとご一緒にいただける幸せを噛みしめながら頂戴しました。合掌

庫裏でのお齋は、今年から全席椅子席にしました



## 願船坊☆日曜学校 第四回お餅つき大会

毎年恒例になりました日曜学校の第四回お餅つき大会。

あいにくのお天気でしたので、前日のうちに仏教壮年会の皆さまが境内にテント設営され、石臼や諸々のセッティングをして下さっていました。

日曜学校のみんなをはじめ、沢山の子どもたち、ご父兄の皆様がご参加下さり、またご近所の方々や仏教婦人会・仏教壮年会のお手伝いの方々も合わせて、五十名以上のご参加を頂き、雨の中でも賑やかに開催いたしました。

日曜学校ですので、いつも通り、おつとめ『十二札』・三つのやくそく・五つのちかい・法話・恩徳

讀・お焼香・と行い、たくさんの方々には仏縁に遇って頂きました。

毎年のお餅つき大会ですっかり慣れた子どもたち。九臼つき、とてもキレイなお餅が五百個ほど、あつという間に出来上がり

ました。つきたてのお餅を思い

思いの食べ方でおなか一杯食べ、各家庭用のお供え用にもお

持ち帰りして頂くことができました。

多くの子どもたちの心に、お寺での思い出として残る

ことを願っています。



一番最初に出来上がったお餅は、み仏さまにお供えます



## 新春落語会 く初笑い

願船坊初の落語会を一月十四日に開催いたしました。

全てが手探り状態の中、沢山の方々のご協力をいただきました。素晴らしい噺家さんの桂春蝶師匠をはじめ、高座を快くお貸し下さいました法友のお寺様、境内にオシャレで美味しいカフェを開いて下さいましたana菓子工房(明光寺の牛尾かおり先生)さん、宣伝にご協力下さいましたご近所のお店の皆さま、受付全般を引き受けてくれた日曜学校の子どもたちや保護者様、そして何より準備から撤収まで全て取り仕切って下さった仏教壮年会の皆さま、関わって下さった皆様のおかげさまで、本堂が初笑いという運びになりました。本当にありがとうございます。定期開催を望まれる声は沢山ございましたので、また来年も開催させていただきます。予定にしております。



百名のお客様がお話に引き込まれていきます



ana 菓子工房のカフェ、大好評でした♪

## お庭コンサート♪

毎年恒例となりました、五月の第二日曜日は、願船坊の中庭でのコンサートでした。

しかし、あいにくの雨で、野外での演奏は出来ず、苦慮した結果、庫裏廊下での演奏となりました。足元の悪い中、七十名以上のお客様がお越しくださり、庫裏の座敷も廊下も溢れかえりました。決して良い環境でお聴き頂けたわけではないのですが、皆さま、とても満足そうな良いお顔でお帰り頂き、私たちも安堵したことです。沢山のアンケートも頂戴し、励みになりました。また、仏教婦人会の皆様にお接待して頂きましたお抹茶も、大変好評でした。

より身近にお寺を感じて頂ければ、との思いから、お客様には、まず本堂にお上がり頂き、ご本尊阿弥陀如来さまにお礼して頂いてから、会場の庫裏にお越しいただきました。そして合掌礼拝のちに仏教讃歌でスタートする、というお寺ならではのコンサートでした。

皆様にとりまして、お寺がもっともっと身近に、足を向け易いところとなりますよう、み仏さまがいらつしやる空間の、ホッとするような心地よさを肌で感じて頂けますように、これから様々な事に取り組んでまいります。

練習中の写真です



## 仏教婦人会レクレーション

先日、仏教婦人会のレクレーションで、北広島町・浄謙寺さまへ団体参拝し、イタリアン精進料理を頂きに行ってまいりました。素晴らしい本堂でお勤めの後、若院様の分かりやすいご法話をいただきました。そして目にも美しく、口にも胃にも嬉しいイタリアン精進料理で、参加者の皆様も大変満足されたようです。貴重な良い一日を仏教婦人会の皆さまと過ごすことが出来て幸せなひと時でした。

### 今月の言葉 「一瞬一瞬を精いっぱい生きる」

また来年もレクレーションを計画されるようです。皆さん、是非ご一緒に、多くのご縁に遇わせていただきますように。(坊守)



浄謙寺さまは願船坊と同じ山号の紫雲山



美しい精進料理に、皆さまから感嘆の声が上がりました♪



かけ橋では、ご門徒様の声やエピソードなどをご紹介していきます。ぜひ文章をお寄せくださいませ。お待ちしております。



## 住職のひとこと法話

弥陀の誓願不思議にたすけられまいらせて、往生をばとぐるなりと信じて、念仏申さんと思いたつ心のおきるとき、すなわち撰取不捨の利益にあずけしめたもうなり。

『歎異抄』より

この中にあります『誓願不思議』を今一度思い返してみたいと思います。

子供の時分「それなあに？」「それはどうして？」と言うように、不思議に思うことが沢山あったと思います。目をキラキラさせ、好奇心いっぱいの子供の心を、大人が満足させることがどれほど難しいか、皆様は経験がおありと思います。大人になる過程で教わったり勉強したりして、一つずつ納得をしていき、色々なことがわかるようになったおかげで、不思議だと思うことが少なくなり、感動することも少なくなっているのではないのでしょうか。

聞けば、私たち衆生は一度諸仏に手を差し伸べて頂いたのですが、残念ながら、そのお慈悲が届く前に、自らの愚かさで受け取ることができず、諸仏に見捨てられた存在でした。阿弥陀如来さまは、そのような私たちをどうにか助けてやりたいと、大いなる慈悲の心を起こされ、五劫というとても長く永い時間をかけて、全ての衆生をもれなく拯う(すくう)という誓願を成就されました。

お聴聞させて頂けば頂くほど、私のようなものが往けるはずのないところに迎えて下さることが、間違いないこととお聞かせいただきます。そのことに、不思議(理屈では到底納得できる世界ではないこと)だなあと感動を覚えたならば、既にそこには現世利益のご褒美がお働きとなって確かに私に届いている証拠、とただけた時には、自ずと手が合わさり、頭が下がり、お念仏を申させていただく姿が、出来上がっているのではないのでしょうか。 合掌

## ☆お知らせ☆

夏供養・永代経法要(浅野 執持師)

六月二十三日(土) 朝席・昼席

※一日のみのご法座です

秋彼岸法要(都河 普鉦師)

九月二十二日(土) 昼席・夜席

二十三日(日) 朝席・昼席

仏教婦人会法座(桑原 昭信師)

十月二十七日(土) 昼席・夜席

二十八日(日) 朝席・昼席

☆どうぞ皆様是非お参り下さいませ。

☆朝活(朝コン) 毎週水曜日 朝六時半～七時

☆仏教壮年会 毎月第二水曜日 午後七～九時

☆仏教婦人会 毎月十六日 午後一時半～三時

☆コールKUSHIRA 毎月十六日

午後三時～四時

☆日曜学校 毎月第四日曜日 朝八時半～十時半

※日時都合により変更する事があります

お寺のホームページです。  
<http://www.gansenbou.com>